

JA新潟みらい自己改革実践状況レポート

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる取り組み

1. 農業者への対応力強化の取り組み

① みらい農業振興支援事業の継続

地域農業の持続的発展のため、園芸の取り組みによる所得増大・生産拡大や、親元就農者へ向けた支援事業等を行っています。

2020年度申請状況：

事業費合計 60件 75,498,314円

収穫機・トラクターの導入や、パイプハウスの設備などに活用され、里芋やいちご、加工大根など1,177aの生産面積の拡大に繋がっています。



② 組合員向け営農情報の発信

新潟みらいのホームページでは、気象情報や栽培管理対策なども含めて、時期に応じた稲や野菜などの最新情報を随時発信しており、R2年度は63回更新しました。

また、一部施設ではLINEを活用した情報発信の試験運用を開始し、今後も様々な媒体を活用した情報発信に取り組んでいきます。

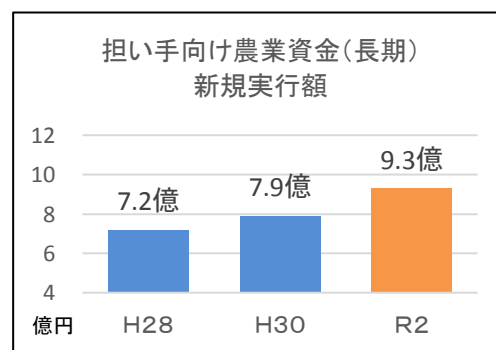
2. 農業生産コスト低減への取り組み

銘柄集約や直送肥料・大型規格農薬の取扱いの利用メリットの提案により、生産資材コスト低減に取り組んでいます。(R2年度の取扱実績は以下のとおりです)

○ 直送肥料・大型規格農薬	133,735千円
○ 銘柄集約肥料オール14	22,475袋
○ 水稲用低コスト肥料越後の輝きシリーズ	70,395袋

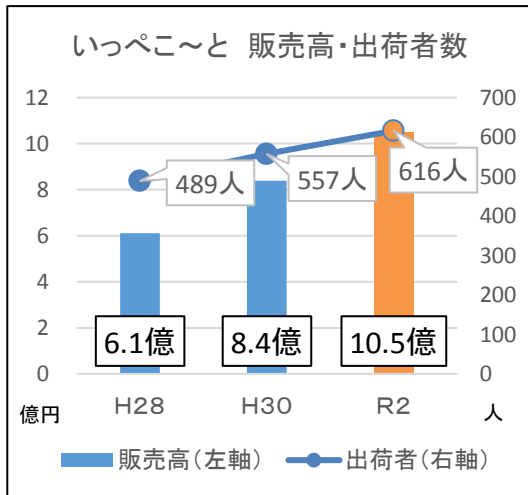
3. 農業資金ニーズに応える対応

担い手農家や農業法人を中心とした定期訪問活動を通じ、情報提供と金融相談機能に対応し、資金ニーズの把握と資金提供に取り組んでいます。



4. 販売力強化への取り組み

大型直売所「ファーマーズ・マーケット いっぺこ〜と」を地域農業活性化の拠点と位置付け、販売高・出荷者数の増加に取り組んでいます。



毎年大好評の周年祭を新型コロナウイルスの影響により開催できなかったため、代わりに6月を創業月間とし、お得でおいしいイベントを毎日開催しました。



▲創業月間で賑わう店内



▲各工房の創業月間限定企画

「地域の活性化」につながる取り組み

1. 食農食育活動の実施



▲家庭科コンテスト作品

◀バケツ稲づくり生育状況報告

例年実施の親子あぐりスクールの代替の活動として、バケツ稲づくりチャレンジや空き容器野菜づくり、親子で協力家庭科コンテスト等を実施し、自宅で楽しむ食農食育活動に努めました。

2. 地域貢献活動の取り組み

地域におけるJAへの理解やつながりを深めるため、地域の清掃活動やひとり親世帯への食材提供、交通安全指導などのボランティア活動を実施しました。



ひとり親世帯への食材提供